

令和2年度当初予算について



目 次

- ・はじめに
- ・橋本市の令和2年度当初予算はどれくらい？
- ・令和2年度橋本市の当初予算（全会計）前年度比較
- ・令和2年度一般会計歳入予算額の内訳
- ・令和2年度一般会計歳出予算額の内訳（何のため？どんなことに？）
- ・市民1人あたりの1年間の税負担と使い道は？
- ・令和2年度橋本市当初予算の歳出の主なもの

ともに創る 産業の振興と雇用を創出し定住できるまち

工業団地造成事業（特別会計）／アジアヘラブナサミット事業
移住・定住支援補助事業／ふるさと橋本応援寄附金

ともに守る 安全・安心な暮らしを守り支えるまち

防災ハザードマップ作成事業／杉村やすらぎ広場整備事業
通学路安全対策施設整備事業／水槽付き消防ポンプ車更新事業

ともに育てる 子どもから高齢者までともに育み学びあうまちづくり

山田さつきこども園整備事業／たんぽぽ園整備事業
小中学校トイレ改修事業／国民文化祭実行委員会補助事業

はじめに

Q □ 予算ってなんだ??

4月から翌年の3月まで（年度）1年間の**歳入**（収入・入ってくるお金）と**歳出**（支出・出ていくお金）を事前に見積もることです。（税金はどれくらいか？どんな事業を実施しようか？etc.）

Q □ 予算はどのように決まるの？

市長が前の年の夏頃から検討をはじめ、できあがった予算案を3月議会に提出します。

提出された予算案は、市議会に審議・議決されて決まります。

最初に決まる1年間の予算を**当初予算**といいます。



Q □ 1年間のうちに予算を変えることはないの？

変えることがあります。

当初予算案提出時には想定できなかった国の制度改正や自然災害などの不測の事態に必要な予算は、市長が年度の途中で改めて追加の予算案を議会へ提出します。これを**補正予算**といいます。

例外はありますが、毎年6、9、12、3月の議会定例会で補正予算を計上することが多いです。

Q □ 橋本市の令和2年度当初予算はどれくらい？

一般会計は**258億2,515万2千円**。特別会計と企業会計をあわせると**576億7,327万4千円**になります。

橋本市の予算には大きく3つの会計（一般会計・特別会計・企業会計）があり、さらに特別会計は9つ、企業会計は3つに分かれています。

各会計の予算規模は次ページ以降に記載しています。

全会計576億7,327万4千円

一般会計

258億2,515万2千円

特別会計

182億8,003万8千円

企業会計

135億6,808万4千円

一般会計

一般会計とは、高齢者福祉や児童福祉、道路・公園整備や学校教育など、市役所の基本的な仕事をするための会計のことです。

特別会計

一般会計と切り離して、特定の事業ごとに経理するための会計です。国民健康保険や介護保険、後期高齢者医療など9つの特別会計があります。

※令和元年度より、(仮称)あやの台北部用地開発事業は造成工事等を着手することに伴い、工業団地造成事業特別会計を新設して事業を進めています。

※令和2年度より、訪問看護事業が病院事業に組織統合されることから、指定訪問看護事業特別会計を廃止します。

企業会計

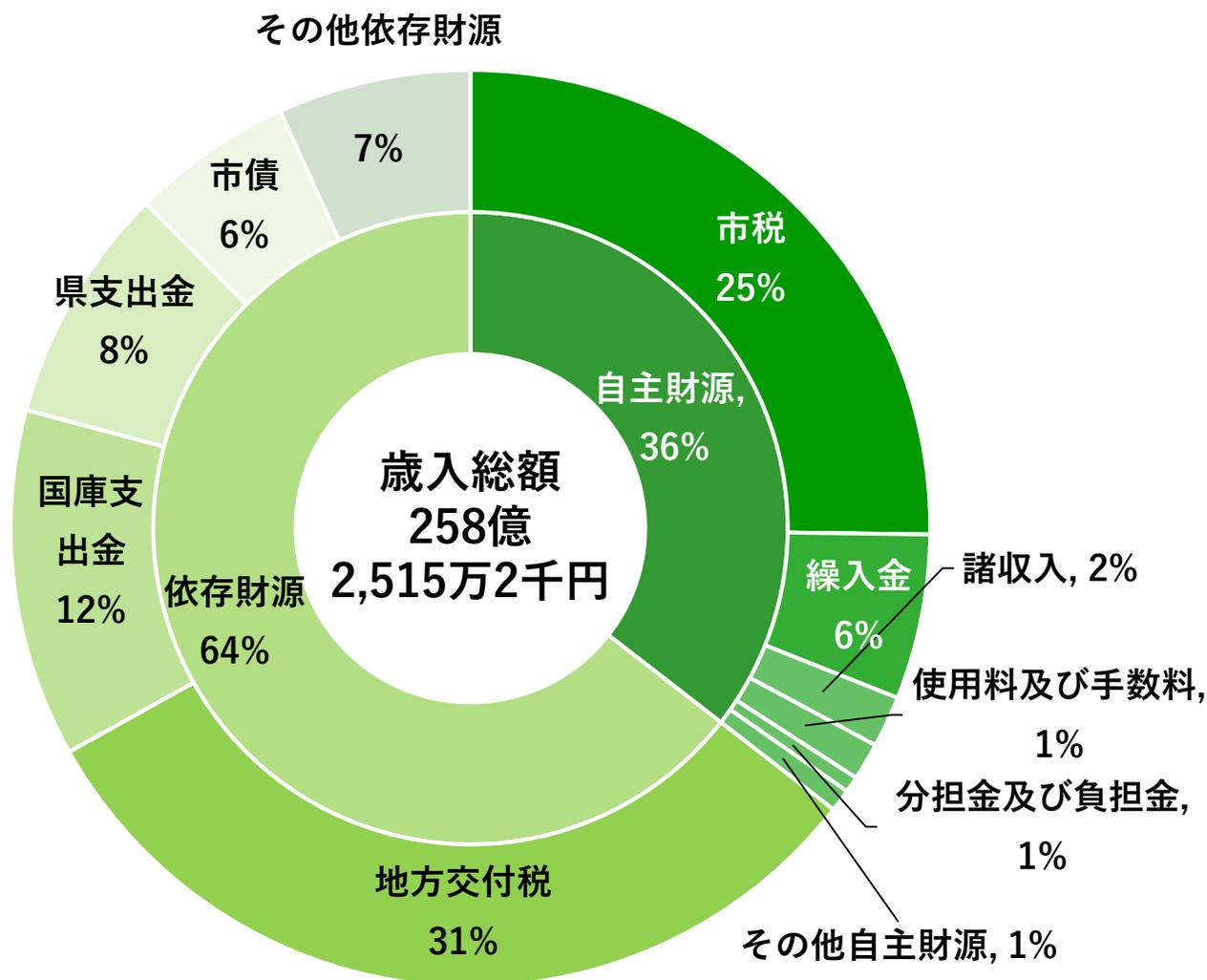
水道事業、下水道事業、病院事業と3つの企業会計があります。民間企業と同じように、事業で収益をあげて運営しています。

※令和元年度より、下水道事業会計が企業会計に加わっています（平成30年度までは公共下水道事業特別会計）。

橋本市の令和2年度当初予算（全会計）を前年度と比較すると、

会 計	R02年度	R01年度	増減額／増減率		
一 般 会 計	258億2,515万2千円	252億3,379万8千円	+5億9,135万4千円 +2.3%		
特 別 会 計	182億8,003万8千円	165億2,550万1千円	+17億5,453万7千円 +10.6%		
企 業 会 計	135億6,808万4千円	140億4,084万4千円	△4億7,276万 千円 △3.4%		
合 計	576億7,327万4千円	558億9,014万3千円	+18億7,313万1千円 3.4%		
国民健康保険特別会計	74億2,678万7千円	72億4,458万7千円	1億8,220万 千円	+2.5%	特別会計
住宅新築資金等貸付事業特別会計	1,030万8千円	1,223万5千円	△192万7千円	△15.7%	
駐車場事業特別会計	970万6千円	226万7千円	△743万9千円	+328.1%	
墓園事業特別会計	3,298万3千円	3,704万5千円	△406万2千円	△11.0%	
農業集落排水事業特別会計	1億2,101万7千円	1億1,538万7千円	+563万 千円	+4.9%	
土地区画整理事業特別会計	1億6,876万8千円	1億4,503万8千円	+2,373万 千円	+16.4%	
介護保険特別会計	71億8,987万3千円	70億9,381万7千円	+9,605万6千円	+1.4%	
指定訪問看護事業特別会計		5,439万9千円	△5,439万9千円	皆減	
後期高齢者医療特別会計	17億9,556万 千円	16億5,758万1千円	+1億3,797万9千円	8.3%	
工業団地造成事業特別会計	15億2,503万6千円	1億6,314万5千円	+13億6,189万1千円	+834.8%	
水道事業会計	21億4,890万4千円	25億4,385万8千円	△3億9,495万4千円	△15.5%	企業会計
下水道事業会計	29億 430万9千円	29億1,138万 千円	△707万1千円	△0.2%	
病院事業会計	85億1,487万1千円	85億8,560万6千円	△7,073万5千円	△0.8%	

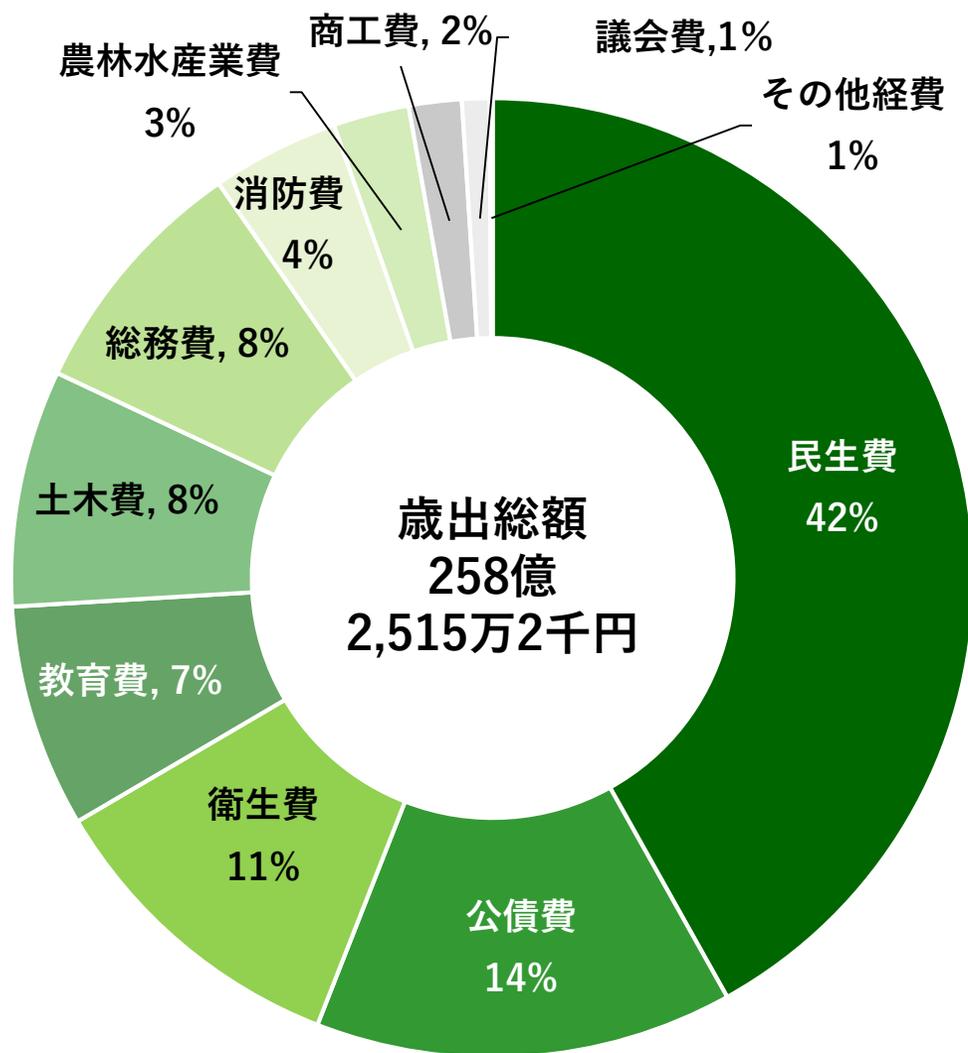
令和2年度一般会計歳入予算額の内訳は、



自主財源とは市が自主的に調達できる収入、**依存財源**とは国や県から交付されたり割り当てられたりする財源や市債のことです。
自主財源の割合が大きいほど財政は安定していると言えます。

自主財源	小 計		91億7,286万3千円	36%
		市税	65億1,250万6千円	25%
		繰入金	15億0,306万1千円	6%
		諸収入	4億6,857万4千円	2%
		使用料及び手数料	3億3,987万2千円	1%
		分担金及び負担金	1億4,547万4千円	1%
	その他	寄附金	1億8,274万1千円	1%
	財産収入	2,063万4千円		
	繰越金	1千円		
依存財源	小 計		166億5,228万9千円	64%
		地方交付税	81億0,000万0千円	31%
		国庫支出金	31億6,867万3千円	12%
		県支出金	21億6,305万0千円	8%
		市債	14億6,750万0千円	6%
	その他	地方消費税交付金	12億6,900万0千円	7%
		地方譲与税	2億5,474万4千円	
		地方特例交付金	7,438万9千円	
		自動車取得税交付金	2,893万3千円	
		配当割交付金	4,400万0千円	
		株式等譲渡所得割交付金	3,700万0千円	
		利子割交付金	1,900万0千円	
		ゴルフ場利用税交付金	2,200万0千円	

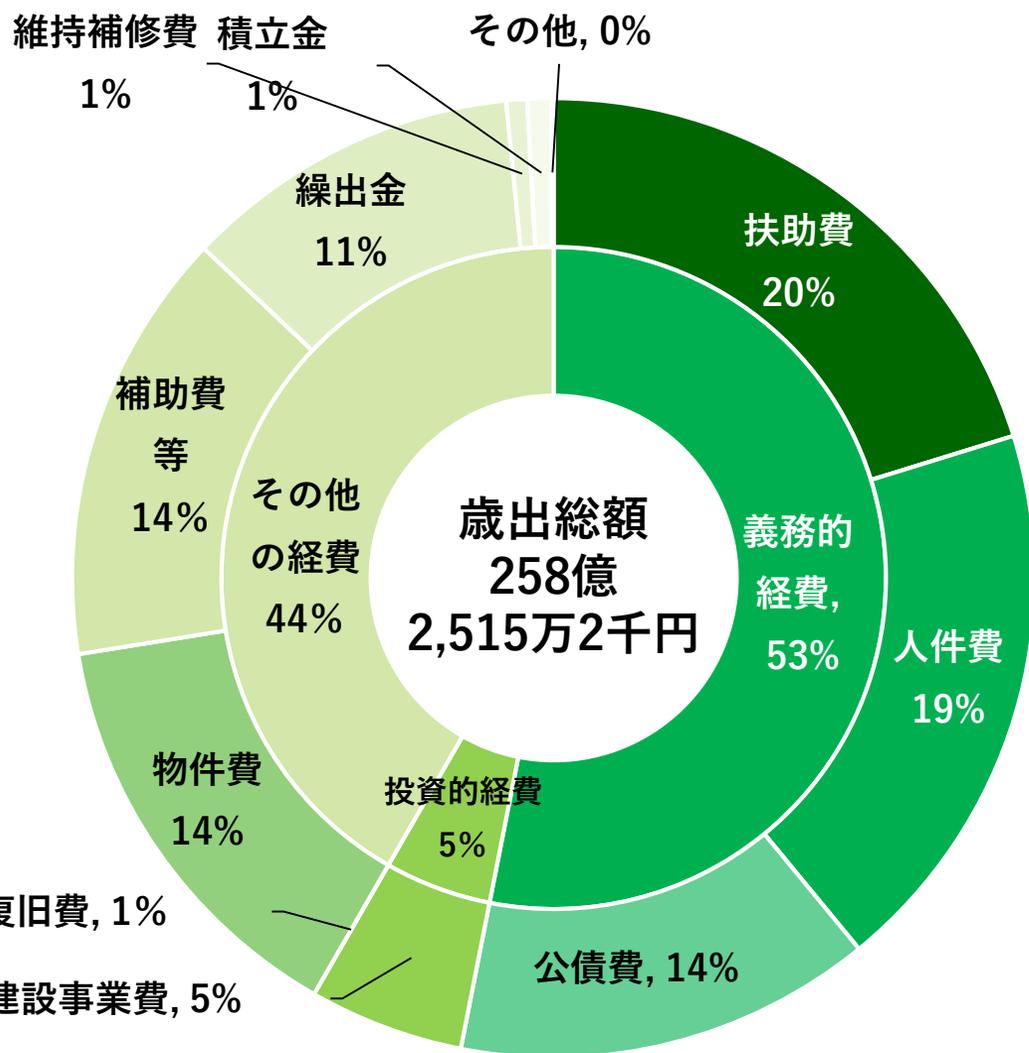
令和2年度一般会計歳出予算額の目的別経費（何のための？）内訳は、



民生費（社会福祉や児童福祉など）	108億2,150万5千円	42%	
公債費（借入したお金の返済）	36億2,205万8千円	14%	
衛生費（医療やごみ処理など）	27億3,844万5千円	11%	
教育費（学校教育、社会教育など）	19億4,101万8千円	7%	
土木費（各種公共施設の整備など）	20億6,008万5千円	8%	
総務費（市役所の全体的な仕事）	21億5,407万4千円	8%	
消防費（消防、救急など）	11億 771万8千円	4%	
農林水産業費（農業や林業の振興や普及など）	6億5,820万5千円	3%	
商工費（観光・商工業の振興や育成など）	4億5,797万2千円	2%	
議会費（市議会の運営）	2億3,845万0千円	1%	
その他	災害復旧費（自然災害の復旧など）	3千円	1%
	諸支出金（ほかの支出に含まれない経費）	32万1千円	
	労働費（労働者の福祉や支援など）	529万8千円	
	予備費（緊急の支出に充てるための経費）	2,000万0千円	

表示単位未満を四捨五入しているため積上げ額が一致しない箇所があります。

令和2年度一般会計歳出予算額の性質別経費（どんなことに？）内訳は、



義務的経費とは支出が義務付けられたもので、毎年度必ず支払わなければならない経費、
投資的経費とは道路や公園、小中学校や保育所などの整備費や大規模改修費、自然災害による施設の復旧など社会資本の整備に関する経費のことをいいます。

簡単に減らすことのできない義務的経費が半分以上を占めていて、財政の硬直化が進んでいる状態です。

経費の性質	小計	金額	割合
義務的経費	小計	137億1,116万2千円	53%
	扶助費	52億1,964万5千円	20%
	人件費	48億6,945万9千円	19%
投資的経費	小計	13億4,237万6千円	5%
	普通建設事業費	13億4,237万3千円	5%
	うち補助事業	7億4,339万5千円	—
	うち単独事業	5億9,897万8千円	—
その他の経費	災害復旧費	3千円	—
	小計	107億7,161万4千円	43%
	物件費	36億5,948万0千円	14%
	補助費等	37億6,968万3千円	15%
	繰出金	29億3,525万6千円	11%
	維持補修費	1億7,992万6千円	1%
	積立金	2億 571万6千円	1%
	投資及び出資金	110万2千円	—
	貸付金	45万1千円	1%
予備費	2,000万0千円	—	

市民1人あたりの1年間の税負担と使い道は？（市民1人当たりの市税負担額 104,469円）



高齢者や児童の福祉など（民生費）

173,591円



借入金の返済（公債費）

58,103円



ごみ処理や病気予防など（衛生費）

43,928円



学校教育など（教育費）

31,136円



道路・公園の整備など（土木費）

33,046円



証明書の発行、選挙など（総務費）

34,554円



農林業振興や商業など（農林水産業・商工費）

17,905円



消防・救急活動など（消防費）

17,769円



その他 / 市民1人当たりの行政サービス額

議会関連経費など

4,238円

414,270円

「市民1人当たりの市税負担額」及び「市民1人当たりの行政サービス額」は令和2年1月31日時点の住民基本台帳登録人口数（62,339人）で除して算出しています。

令和2年度橋本市当初予算の歳出の主なもの

橋本市では、平成30年度から10年間のまちづくりの指針となる第2次橋本市長期総合計画を策定し、まちづくりの基本的な考え方となる基本理念のもと、3つの基本目標に沿った施策を推進します。

基本目標 ▶ **ともに創る** 産業の振興と雇用を創出し定住できるまち

- 賑わいと活力を創出する地域産業づくり
- 雇用の創出と就労環境づくり
- 充実した情報整備と魅力的なまちづくり

基本目標 ▶ **ともに守る** 安全・安心な暮らしを守り支えるまち

- 安全・安心な暮らしと、生活の利便性を支える都市基盤づくり
- 豊かな自然と暮らしが調和する生活環境づくり
- 住み慣れた地域で安心して暮らせる持続可能な仕組みづくり

基本目標 ▶ **ともに育てる** 子どもから高齢者までともに育み学び合うまち

- 一人ひとりの個性が尊重され思いやりのあるまちづくり
- 妊娠・出産、子育てから教育まで切れ目のない支援とそれを支える地域づくり
- 生涯にわたる生きがいづくりと心の豊かさを高めるまちづくり



予算額：15億2,503万6千円

財源内訳（円）

国県支出金	地方債,	その他,
7億5,667万1千	2億6,890万	4億9,946万5千

南海電気鉄道株式会社・和歌山県・橋本市の3者が協力してあやの台北部工業団地第一地区土地区画整理事業を実施しています。令和2年度は造成工事や環境影響評価事後調査などを行います。

主な経費

あやの台北部工業団地第一地区造成工事費

14億2,258万3千円

環境影響評価事後調査業務委託料

2,501万円



イメージパース

予算額：

135万円

財源内訳（円）

国県支出金, 60万7千	その他, 67万5千
その他67万5千円は産業振興基金繰入金	

「ヘラブナ釣りと紀州へら竿の町橋本」を推し進めるために、ヘラブナ釣りを支える関係者と橋本市が協力して、アジアヘラブナサミットを昨年引き続き開催します。

[R1の様子はこちら（橋本市HP）](#)

[（YouTube橋本市公式チャンネル）](#)

主な経費

講師謝金 15万円

旅費（費用弁償含）25万2千円

情報発信委託料 80万円

その他 14万8千円



前回のアジアヘラブナサミット

予算額： 1,548万円

財源内訳（円）

国県支出金

その他, 649万

一般財源, 524万

375万

その他649万円はふるさと応援基金繰入金

本市への移住推進及び空き家の利活用を推進するために、以下の補助事業を前年度に引き続き継続して実施します。

- ・ 転入夫婦新築住宅取得補助金（継続） 9,000千円
- ・ 空き家お試し暮らし応援補助金（継続） 480千円
- ・ 空き家移住応援補助金（継続） 1,000千円
- ・ 移住支援金（継続） 5,000千円

「移住支援金」は、

★東京23区で5年以上就業または在住した人が、



- ①就活サイクルプロジェクト参画事業の求人に採用
- ②和歌山県実施の起業支援金を交付決定受ける



①②いずれかを満たし、市内に転入すると補助金交付



← 橋本市移住サイトへのリンク

予算額： 9,790万9千円

財源内訳（円）

その他, 9,790万9千

その他9,790万9千円はふるさと応援基金繰入金

橋本市をふるさととして応援し、ふるさと橋本の元気づくりに賛同する方々からの寄附に対して、記念品などのお礼や寄附をPRするための委託料などを予算計上しています。

ふるさと橋本応援寄附金見込額：1億8,000万円

過去の寄附実績

- 平成30年度 1億4,647万2千円
- 平成29年度 1億3,519万2千1円
- 平成28年度 1億344万4千100円



↑ 橋本市のふるさと納税

予算額： 445万5千円

財源内訳 (円)

一般財源, 445万5千

和歌山県が指定する市内の土砂災害警戒区域及び特別警戒区域について、住民の皆さまへ広く知ってもらい、防災意識を高めることを目的として、防災ハザードマップを作成する予算を計上しています。

主な経費

防災ハザードマップ作成手数料
445万5千円

ハザードマップイメージ



予算額： 1億3,954万8千円

財源内訳 (円)

一般財源, 1,194万8千

国県支出金,
5,580万

地方債, 7,180万

杉村公園は、国道371号バイパスや京奈和自動車道の整備によりアクセス環境がよくなっていることから、利便性の向上を図るため社会資本整備総合交付金（国）を活用し、公園に隣接した広場（駐車場、トイレ等）の整備を行います。令和2年度では、遊具設置・植栽等・案内板設置工事の予算を計上しています。



現在の杉村やすらぎ広場の様子と完成イメージ図

予算額： 1,500万円

財源内訳 (円)

国県支出金,
825万

地方債, 600万
一般財源, 75万

通学路の安全を確保するための橋本市通学路交通安全プログラムに基づき、令和2年度では市道慶賀野垂井線に防護柵を継続設置するとともに、御幸辻吉原線の道路照明等整備の予算を計上しています。

主な経費

通学路安全対策整備工事費 1,500万円

▶慶賀野垂井線の防護柵



予算額： 6,994万3千円

財源内訳 (円)

地方債, 6,990万

一般財源, 4万3千

水槽付き消防ポンプ自動車は火災現場に到着するとすぐに放水することができるため、火災発生時により迅速な対応が可能になります。令和2年度に水槽付き消防ポンプ自動車1台を更新する予算を計上しています。

主な経費

備品購入費

(自動車購入費) 6,994万3千円



▲水槽付き消防ポンプ車のイメージ写真

山田さつきこども園整備事業

こども課

予算額： 2億4,392万円

財源内訳 (円)

一般財源, 1,324万1千

国県支出金, 1億6,867万9千

地方債,
6,200万

岸上・柏原・山田保育園の3園を統合し、民設民営による公私連携幼保連携型認定こども園を整備するため、旧柏原保育園園舎の解体工事などに伴う周辺整備費負担金と法人が新築する山田さつきこども園園舎建設に伴う施設整備費補助金を予算計上しています。

主な経費

周辺整備費負担金

4,048万7千円

施設整備費補助金

2億343万3千円



▲イメージ写真

妊娠・出産、子育てから教育まで切れ目のない支援とそれを支える地域づくり

たんぽぽ園整備事業

こども課

予算額： 2億531万円

財源内訳 (円)

国県支出金, 106万1千

一般財源, 1,930万5千

地方債, 1億8,100万

その他394万4千円は社会福祉事業基金繰入金 その他, 394万4千

たんぽぽ園園舎の老朽化の解消と受入定員の増員をするために園舎を新築移転します。

令和2年度は、園舎の新築工事費や新園舎の備品購入費などの予算を計上しています。

主な経費

新築等監理委託料 237万円

新築工事費 1億8,963万円

その他(備品) 1,331万円



▲イメージ写真

ともに育てる 子どもから高齢者までともに育み学びあうまちづくり

予算額： 398万5千円

財源内訳 (円)

地方債, 290万

一般財源, 108万5千

柱本小学校、三石小学校、橋本中央中学校のトイレを改修（トイレの洋式化及び床の乾式化）するための設計委託料を予算計上しています。

主な経費

トイレ改修工事設計委託料

398万5千円



←イメージ写真

予算額： 264万4千円

財源内訳 (円)

国県支出金, 20万

一般財源, 244万4千

令和3年10月30日から和歌山県で開催される第36回国民文化祭を橋本市内で事業実施するため、前年に開催地の視察等準備活動を行うための経費を実行委員会へ補助する予算を計上しています。

主な経費

国民文化祭実行委員会補助金

264万4千円



PRロゴマーク▶